

第4回箕面駅周辺整備方針検討懇話会会議概要

議題1 前回(2月7日開催)の確認について【報告】【資料1】

議題2 箕面駅周辺整備計画(素案)について

今後のスケジュール【資料2】 整備計画(素案)について【別冊】

主な意見

(整備計画(素案) 序章)

1ページ、検討対象地区の表現はわかりにくい。検討対象施設についても「1. 阪急箕面駅前広場」となっているが、誤解を与えるので、駅前広場だけにした方がいい。

(整備計画(素案) 第4章)

25ページ、問題点・課題(総括)のところで、「スクランブル交差点に。」という意見がある。ここは図の方でも、丸印で囲んで示してほしい。

25ページに「北側アーケードの撤去。」とあり、一つの項目になっているが、整備内容に入れないなら、ここにも記載しない方がいいのではないかと。

(整備計画(素案) 第5章)

29ページの図の表題が「回遊性と整備計画のイメージ図」になっているが、イメージ図ではないので、「回遊性と整備計画の方向性」にした方がいい。

(整備計画(素案) 第6章)

49ページ、街路のカラー舗装で、今もカラー舗装になっている部分があるが、施工時期や施工者が違い、異なった材質で仕上がっている。今回の整備で改修するときには、そこも一体的になるようにしてほしい。

49ページ、街路整備C区間のところは、ほとんど住宅地のところだが、カラー舗装の必要はあるのか。29ページの図でも、回遊動線の印がある。

回答：その区間には、いくらか店舗があるので、そういう形にした。

そこは今、第二種中高層住居専用地域だが、まちは進化するし、それによって用途も見直すので、このままで公表して意見を聞いた方がいい。

今の用途から、近隣商業地域に変えるとなると、十分な議論がないと難しい。どういう位置づけで舗装するのか。商業の賑わいを延長するのではなく、住環境を高めていくために、歩きやすくするという事なら、方向性として合っている。

29ページの回遊動線も、残しておいた方がいい。点々と店がはりつき、そこに回遊性が出てくるのが、面白い。その区間には、駅地下道の出口もある。

サンプラザ2号館裏側の道路は、カラー舗装しないのか。

回答：カラー舗装は、誰もが利用しやすい空間というコンセプトのもと、歩行者に配慮した道路にするということで検討している。サンプラザ2号館裏側の道路については、カ

ラー舗装をするが、それ以外はこのままの形で公表し、意見をいただくことにする。

(整備計画(素案) 第7章)

事業のスケジュールについて、20年度から25年度に上手く振り分けているが、整備の場所が違えば、同時並行で実施することもできるのではないか。

回答：一般財源だけでは、事業化は難しいので、特定財源を確保する予定である。その流れを想定して、優先順位をつけて振り分けている。

一般の市民には、行政側の財源の問題はわからないので、もう少しわかりやすく書くべきではないか。

回答：55ページの7、8行目、57ページの4～6行目に、考え方を書いている。

(整備計画(素案) おわりに)

この整備のあと、どうするかが大きな問題である。ソフト面でどういうことをするのか、みえない。

いろいろなイベントを行って来て、最近では、箕面でも商業者の動きが変わってきたのではないかと思う。

商業者もいろいろ取り組んでいるが、売り上げにつながらないと、気持ちが萎えてしまう。売り上げにつながるよう、消費者にがんばりを伝えていく努力が必要である。今回のワークショップで、商業者以外の住民のかたが関わったと思うので、その人たちのつながりを活かし、活性化につなげてほしい。

欠席の委員から、意見をいただいている。61ページ、5段落目の4行目、「商店会ごとに取り組むのではなく」のところは、「商店会毎の取り組みはもとより」に変更してはどうか、とのことである。

計画に出てくる年号には、西暦を併記してもらいたい。

まとめ

4月12日から予定しているパブリックコメント募集に際し、公表する「箕面駅周辺整備のあり方について〔箕面駅周辺整備計画〕」(素案)の内容、意見募集の手法等は、おおむね了とされた。ただし、いただいた意見をもとに、以下の点について修正を加える。

- ・P1 検討対象地区の表現、区域図
- ・P25 主な検討対象施設の問題点・課題(総括)
- ・P29 箕面駅周辺における回遊性と整備計画のイメージ図(タイトル)
- ・P46 アーケード・街路等の空間コンセプト(整備の視点)
- ・P49 アーケード及び街路の整備計画
- ・P61 今後の中心市街地まちづくりの展開のあり方
- ・また、年号は元号と西暦の併記とする。